

JIS/ISO関連の動き

●自転車JIS改正原案作成委員会の開催

平成14年1月31日自振協 技術研究所（大阪府堺市）に於いて、小川武史委員長青山学院大学教授ほか消費者、業界団体、及び自転車関連企業の三者構成による「JIS改正原案作成委員会」が開催され以下の規格が審議された。

JIS D 9301	一般用自転車	
JIS D 9403	自転車フレーム部品	審議終了
JIS D 9413	自転車-にぎり	審議終了
JIS D 9416	自転車-ペダル	審議終了
JIS D 9419	自転車-ハブ	審議終了

・審議の概要

JIS D 9301一般用自転車については、ISO-4210「サイクル-自転車の安全要件」のスタイルを取り入れ、完成車のJISとして全面的な編集の変更を行った。なお、フレームの強度試験については、自振協技術研究所においてDIN規格による動的試験が行える試験装置を導入し強度試験の解析中のため、次回委員会へ持ち越した。フレーム部品、にぎり、ペダル、ハブの4規格については、審議を終了した。

●ISO/TC149(自転車)/SC1国際回答原案作成委員会の開催

平成13年12月18日日本自転車会館会議室に於いてISO/TC149(自転車)/SC1国際回答原案作成委員会(委員長小川武史)を開催し、「自転車ISO規格の現状」、「ISO及びCEN(ヨーロッパ標準化委員会)を取り巻く状況」、「ISO規格の5年見直し結果」などについて審議が進めた。

ISO/TC149(自転車)の業務範囲の変更について、現在は適用範囲外の電動アシスト自転車の扱いについて、票決があり、日本としては電動アシスト自転車をISOで審議することに賛成であると回答した。

●ISO/TC173/SC1(車いす)国際回答原案作成委員会の開催

平成14年2月19日東海大学校友会館会議室に於いてISO/TC173/SC1(車いす)国際回答原案作成委員会(委員長田中理横浜市総合リハビリセンター企画研究室長)を開催し、13年度においては、「電動車いすの動的安定性」、「名称、用語、定義」、「試験用ダミー」など18規格について、賛成投票11、反対投票3、その他見直し、確認などの回答を行った旨報告した。